

北米地域との青少年交流 (KAKEHASHI Project - the Bridge for Tomorrow-)

カナダ国訪日団第6陣(ロングイユ高校グループ)

訪問日程 平成26年2月8日(土)～2月17日(月)

1 プログラム概要

本プログラム第6陣では、カナダ国ケベック州ロングイユ市のコレージュ・フランセ・ロングイユ校 (College Français Longueuil、以下ロングイユ校) の一行25人が、2月8日(土)(日本到着)～2月17日(月)(日本出発)の旅程で来日した。

我が国に対する潜在的な関心の増加、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力などのブランド、日本的な「価値」への国際理解増進、未来を担う青少年同士の相互理解を図ることを趣旨として、東京においては、日本科学未来館で開催されている企画展「THE 世界一展」にて、「ASHIMO」やセラピーロボット「パロ」等のロボット、世界初のウォークマン、回転ずしのコンベヤといった日本発のテクノロジーとともに伊勢神宮式年遷宮に使用された伝統的技術に触れ、トヨタメガウェブでは福祉車両を見学した。また下町浅草の浅草寺界隈を散策して雷おこしを作るなど、江戸情緒を味わった。

札幌でのプログラムでは、1月にロングイユ校での学校交流を行ったパートナー校の札幌西高校と札幌東高校を訪問して再会を喜びあった。カナダや学校生活のプレゼンテーションを行ったほか、英語や家庭科の授業と一緒に体験し、華道・書道・弓道といった日本ならではの部活動体験も含めて交流を深めた。

両校の生徒宅に泊まったのホームステイでは、「第65回さっぽろ雪まつり」や札幌周辺の観光地をホストファミリーと楽しみ、日本の家庭の暮らしを肌で感じる機会を得た。また、国際活動を進めている北海道大学で、留学生を対象に開かれている「現代日本学プログラム」イギリス人コーディネータの説明を受け、またカナダからの留学生の体験談を聞いた。

札幌を離れ白老町に向かった一行は、アイヌ民族博物館を訪問し、アイヌの舞踊を学び、アイヌ伝統楽器のムックリを作り音だしを楽しむ機会も得て、先住民の多いカナダとの共通点も見出した様子だった。

小樽では、国の登録有形文化財にも指定されているにしん御殿小樽貴賓館(旧青山邸)で往時の栄華を伝える日本の伝統建築と雛段飾りを見学し、限られた期間ではあったが、北海道を多角的な視点から学ぶ機会を得た。

2月14日には外務省へ赴き曾根健孝北米第一課長への表敬訪問を行った。カナダと日本の外交について説明を受け、返礼として引率教諭が練習してきた日本語でメッセージを伝えた。

2月8・9日および14・15日の歴史的大雪で、予定していたいくつかのプログラムの実施が不可能になり、深夜にホテルにたどり着くなど、予想だにできなかった変更を余儀なくされた一行だったが、多くの人たちの助けとご協力のもと、無事に全行程を終えることができた。最終日の振り返りの機会には、日本留学を決めた参加生徒もおり、それぞれの思いが詰まるプログラムとなったようだ。

2 日程

2/8 (土)	16:00	成田空港着
2/9 (日)	午前	オリエンテーション
	午後	航空科学博物館見学、もののけ姫鑑賞、東京に移動
2/10 (月)	午前	札幌へ移動
	午後	雪まつり会場散策後、札幌西高校にて学校交流、およびホストファミリーとの対面式、ホームステイ開始
2/11 (火)	終日	ホームステイ
2/12 (水)	午前	札幌東高校にて学校交流
	午後	北海道大学国際本部にて現代日本学プログラムの説明、北海道大学総合博物館見学、ホテルにて交流の夕べ
2/13 (木)	午前	アイヌ民族博物館（白老町）にてアイヌ文化体験
	午後	小樽にて小樽貴賓館見学、小樽市街散策
2/14 (金)	午前	東京へ移動
	午後	皇居など車窓観光後、外務省表敬、表参道散策
2/15 (土)	午前	臨海副都市車窓観光後、日本科学未来館にて「THE 世界一展」見学
	午後	日本科学未来館・トヨタ MEGA WEB 見学、合気道体験
2/16 (日)	午前	江戸東京博物館・浅草・浅草寺見学、雷おこしづくり体験
	午後	成田へ移動。ホテルにて日本滞在中の経験についてのディスカッション
2/17 (土)	11:00	成田空港発

3 写真

	
<p>2月10日 雪まつり会場を見学</p>	<p>2月10日 札幌西高校での学校交流（自校紹介）</p>
<p>Sightseeing in the Sapporo Ohdori Park (Snow Festival) (Feb. 10)</p>	<p>School Exchange program with Sapporo Nishi High School. Presentation about Longueuil (Feb.10)</p>
	
<p>2月12日 札幌東高校学校交流（地理授業参加）</p>	<p>2月13日 アイヌ民族博物館にてムックリ制作</p>
<p>School Exchange program with Sapporo Higashi High School. Geography class (Feb.12)</p>	<p>Student made traditional music instruments “Mukkuri” at the Ainu Museum (Feb. 13)</p>
	
<p>2月13日 小樽練御殿にて雛飾りを鑑賞</p>	<p>2月14日 外務省表敬</p>
<p>With the decoration for the Girls’ Day at The Old Aoyama Villa in Otaru (Feb.13)</p>	<p>The Courtesy Visit to the Ministry of Foreign Affairs of Japan (Feb. 14)</p>

4 参加者の感想

日本の旅で、最も印象に残ったことは、かけはしプロジェクトの参加者の真心のこもったおもてなしです。ホストマザーとファザーは、私が自宅にいるような気持でいられるように、努めてしてくれたことが私には良くわかりました。

私がカナダに戻ったら、サムライや歴代の天皇といった日本の歴史や、進んだ技術、宗教やお寺の美しさ、日本の自然について、皆に話すつもりです。とりわけ、私は如何に日本人の精神構造が特別で、私達のものとは異なることも話したいと思います。日本人は、自分たちの間で尊敬しあい、そして自然と共に生きています。

この驚くような旅に選抜され、本当に幸運でした。この忘れられない体験に参加したことを光栄と思っていることを、最後にお伝えしたいと思います。

どうもありがとうございます。

[女子 17歳]

まず何よりも、僕は日本人のパートナーと共に過ごした2日間をとて大事に思っています。非常に楽しく過ごし、ともに意思の疎通をすることができ、またもちろん互いを理解しあうことができたことに満足しています。これからもコンタクトを取り続けます。

訪問先としては、僕はお寺と東京都心がとびぬけてとても気に入りました。建物は非常に美しく、細かいところまで作りこまれていました。人々が多くの時間をかけて素晴らしい細かな装飾を作ったのだということが見て取れます。

日本人は、尊敬、規律、他人への敬意、そして常に自分のことよりも他人を思いやることというような、非常に素晴らしい価値を持っています。僕は、本当にそれらの良さを評価しています。

このわくわくする体験と忘れられない旅をさせてくださった皆様、どうもありがとうございました。

[男子 16歳]

幾つものことが、旅の間中心に強く残りました。

まず、私は合気道をするのが気に入りました！全部が全部魅力的でした。もう友達に技を見せているほどです。

次いで、私はアイヌ博物館訪問が非常に気に入りました。ほかの国の先住民族についていくらかでも学ぶことは、いつも興味深いものです。小樽の街もとても気に入りました。温かみがあり、かわいい街なのです。

日本の歴史をより多く学ぶことができたので、江戸東京博物館は、楽しかったです。最後に、私は浅草のお寺を訪れたことが大変気に入りました。私は日本文化の心髄を感じ取りました。素晴らしかったです！もちろん私は身近にいる人たちと、見つけたこと全てを分かち合います。

[女子 17歳]

日本滞在中、たくさんのことに感銘を受けました。まず自然と大都市の組み合わせです。

東京にいた時には、自分達が見たことのない超高層ビルを見たかと思うと、次には、公園の真ん中にいたり、古く美しいお寺の中にいたりしたのです。

他に印象深かったのは日本の技術です。私たちが見たロボットはサッカーをしたり、トイレでは音楽が流れたり、自動ドアがいたるところにありました。

しかしなによりも一番感銘を受けたのは日本の価値観です。日本人はもっとも近代的な社会に住んでいますが、先祖代々引き継いだ価値を重んじ、こうした側面が日本人を特別なものにしています。彼らは互いを大事にし、また住んでいる環境を大事にしています。日本人は新たな人々と会うのを好み、彼らの文化をいろいろな社会へ広めたいようです。また彼らはお年寄りや障害者を大事にし、互いに助け合っています。

最後に、カナダに帰国したら、日本について知ったこと、どんなに日本や日本の人々がすばらしいか話したいです。そしてみんなに日本へ行って、自分の目で確かめるよう説き聞かせたいと思います。見る価値があるのですから。日本の社会は、他、各社会の見本です。現代のなかに古い価値が存在しています。日本の人びとが規律を守り、組織的に行動し、またお互いを大事にしているかを見てもらいたいと思っています。

私の友たち、カスガユウスケや家族に、必ず会いに来たいです。彼らは私にとって最高のホストファミリーでした。彼らにいつか会えることを願っています。

日本について感動したことはいくつもあります。第一に、日本の人々のすばらしいホスピタリティです。行く先々で会う人々は皆親切で寛大な心を持っていました。私たちの多くが、お別れのときになると涙を流していました。また日本人は互いを尊敬し、支えあっていることもとても好きです。カナダでは、知らない人と目が合うとすぐさまに避けようとします。日本では微笑んでくれ、相手への敬意とともにうなずいてくれます。この異なる文化がおもしろかったです。この点に関しては、日本の方が好きです。帰国したら出来る限り多くの人に写真を見せながら、日本での話をしようと思います。本当に楽しかったです。こうした機会をくれた日本政府に感謝の気持ちでいっぱいです。

(日本語で) どうもありがとうございました！

[男子 16歳]

まず私の印象から言うと、この旅での経験は、心の底から一生に一度の機会であると言えます。この旅をより多くの人々が経験すべきです。なぜこんな経験をたくさんの方がすべきと提案するかというと、人生のさまざまな側面で考え方を変えうることだからです。

日本滞在中、いかに日本はカナダと異なるかをよく考えていました。一番驚いたのは技術です。特に未来型トイレには驚きました。この技術はトップレベルで衝撃的でした。カナダ、アメリカさえもこれに比べたら底辺に近いところにあります。このような技術がどこにでもある日本に来ることは、世界中の技術マニアには夢です(もちろん私も含めてです)。

日本の人々の考え方からも学びたいです。つまりこうした究極の夢を実現しながら、心穏やかな精神性をどうしたら持てるかということです。

[男子 17歳]